

■ 平成 29 年 4 月 15 日(土) 定例観察会「タンポポを探そう！一私の春の七草」

場所／大阪城公園 天候／曇り一時雨

スタッフ／4名

参加者／大人 3 名

観察内容／10時の集合時間には晴れていたのですが、昼前から小雨がぱらつく天気の中での



観察会となりました。今回の参加者は 3 名でしたが、樹木は詳しいが草花の事が知りたい、あるいは食べられる野草の事を知りたいと、目的意識をはっきりと持った方が、協会のHPを見て参加して下さいました。スタッフが参加者とマンツーマンで対応できたため、参加された方の希望にそえた観察会になったと思っています。

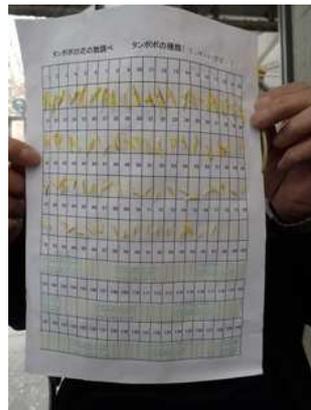
カンサイタンポポ、シロバナタンポポに加え、例年より 1 週間開催日を遅らせたため、セイヨウタンポポとアカミ

タンポポの花と瘦果の両方が見られ、4種類のタンポポの瘦果の比較ができました。

音楽堂周辺では、タンポポとよく似たオニタビラコやハルノゲシを観察。これまで、ハルノゲシをタンポポだと思っていた方もおられました。また、シロツメクサやオランダミナグサなどの春の草花も観察しました。鳥見の小径では、シロバナタンポポの観察。綿毛をつけたものもあり、瘦果の大きさを観察してもらいました。今年はアメリカスミレサイシンやオオイヌノフグリも群生していました。



階段を登り上の広場でカンサイタンポポとセイヨウタンポポの花の数調べをしました。セイヨウタンポポは120個、カンサイタンポポは51個と78個の小花がありました。見た目でもセイヨウ



ウタンポポの方が数が多いと予想できましたが、倍近い差があるとは皆さん思っていなかったようでした。実際に調べてみないと分からないものです。また、ルーペで小花の構造も調べてもらいました。めしべとおしべ、綿毛になるところ、一枚に見えた花弁も実際は5枚の花弁がくっついていることも観察してもらいました。

最後に、ピース大阪の「にの森」に移動。カラタネオガタマとライラックの花の香りをかんでもらった後、春の七草にちなんで、草花を7種類集めて台紙に貼り付けてもらいました。オオイヌノフグリ、ハコベ、オランダミナグサ、キュウリグサ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノヤリ、スズメノカタビラなどを見つけて思い思いの「私の春の七草」ができました。